

3M、2012年第3四半期の業績を発表
第3四半期の1株当たり利益は過去最高の1.65ドル、
売上高は75億ドル、営業利益率22.4%を達成

当資料は、3M社(本社:米国ミネソタ州、NYSE:MMM)が2012年10月23日(現地時間)に発表した報道資料を和訳したものです。

3Mの第3四半期の1株当たり利益は前年同期から8.6%増加して1.65ドルでした。営業利益は17億ドル、営業利益率は22.4%でした。

インゲ・G. チューリン会長・社長兼最高経営責任者は次のように述べています。

「3Mは第3四半期も力強い業績を達成しました。昨今の成長の鈍い経済情勢にありながら、3Mのビジネスは成長を続け、利益率は過去最高を記録しました。第3四半期の営業利益率は全6事業部門で21%を超え、2012年も着実に業績を上げています」。

売上高は前年比で0.4%減少して75億ドルでした。買収を除く既存ビジネスの現地通貨ベースでの売上高は2.2%増加し、買収による売上高の増加は0.5%でした。為替による売上高への影響は3.1%減でした。

部門別では、買収を除く既存ビジネスの現地通貨ベースでの売上高は、ヘルスケアで4.3%、工業用及び輸送機器で3.3%、コンシューマー及びオフィスで1.4%、ディスプレイ及びグラフィックス1.3%、セーフティ、セキュリティ及びプロテクションサービスで0.7%、電気及び通信で0.1%増加しました。地域別の買収を除く既存ビジネスの現地通貨ベースでの売上高は、中南米・カナダで10.5%、米国で2.3%、EMEA(欧州、中東、アフリカ)で0.8%増加しましたが、アジア太平洋地区では0.1%減少しました。

第3四半期の純利益は12億ドルで、1株当たり利益は1.65ドルでした。全社の営業利益率は22.4%で、フリーキャッシュフローは9億8,700万ドルでした。

チューリンは、「経済状況に左右されることなく、3Mは事業を着実に進めていきます。当社の特徴である技術力、卓越したものづくりとグローバルな事業展開の総合力で、3Mは売上高、利益、キャッシュフローを継続的に増加させていくことが出来るのです」と話しています。

3M社は2012年度通期の業績予測を更新しました。経済の現況を反映して、通期の1株当たり利益は、6.27~6.35ドルと予測しています。これには今後予定されている買収関連費用1株当たり0.03ドルが算入されています。前回予測の1株当たり利益6.35~6.50ドルには、買収関連費用は含まれていませんでした。通期の買収を除く既存ビジネスの現地通貨ベースでの売上高は2.0~2.5%増加し、為替相場変動による売上高の減少は約2.5%と予測しています。通期の営業利益率は21.5~22.0%と予測しています。

第3四半期のビジネス部門別の業績

工業用及び輸送機器

- 売上高は、米ドル建てで0.5%減少して、26億ドルでした。買収を除く既存ビジネスの現地通貨ベースでの売上高は3.3%増加し、為替の影響による売上高の減少は3.8%でした。
- 買収を除く既存ビジネスの現地通貨ベースでの売上高は、
 - 自動車OEM市場、航空機市場、自動車アフターマーケットで最も増加し、リニューアブルエナジーは前年比で減少しました。
 - 世界の全地域で増加し、最も増加したのは米国と中南米・カナダでした。
- 営業利益は9.4%増加して5億7,500万ドル、営業利益率は22.4%でした。

ヘルスケア

- 売上高は、米ドル建てで 1.4%増加して、13 億ドルでした。買収を除く既存ビジネスの現地通貨ベースでの売上高は 4.3%増加し、買収による増加は 0.4%、為替の影響による売上高の減少は 3.3%でした。
- 買収を除く既存ビジネスの現地通貨ベースでの売上高は、
 - 主としてフードセーフティ、ヘルス・インフォメーション・システムズ、創傷ケアで増加しました。
 - 中南米・カナダ、アジア太平洋地区をはじめとして世界のすべての主要地域で増加しました。
- 営業利益は 9.0%増加して 4 億ドル、営業利益率は 31.7%でした。

コンシューマー及びオフィス

- 売上高は、米ドル建てで 1.6%増の 11 億ドルでした。買収を除く既存ビジネスの現地通貨ベースでの売上高は 1.4%増加し、買収による増加は 2.5%、為替の影響による売上高の減少は 2.3%でした。
- 買収を除く既存ビジネスの現地通貨ベースでの売上高は、
 - DIY とコンシューマーヘルスケアが最も増加し、文具オフィスでは減少しました。
 - 中南米・カナダ、アジア太平洋地区では増加し、米国では横ばい、EMEA では減少しました。
- 営業利益は前年とほぼ変わらず 2 億 4,400 万ドル、営業利益率は 21.9%でした。

ディスプレイ及びグラフィックス

- 売上高は、米ドル建てで前年比横ばいの 9 億 3,600 万ドルでした。買収を除く既存ビジネスの現地通貨ベースでの売上高は 1.3%増加し、買収による増加は 0.8%、為替の影響による売上高の減少は 2.1%でした。
- 買収を除く既存ビジネスの現地通貨ベースでの売上高は、
 - アーキテクチャルマーケットが 2 桁台の増加、コマーシャルグラフィックスと交通安全システムも増加しました。
 - 光学フィルムは前期に引き続き 2 桁台の増加を達成しましたが、前年比ではわずかに減少しました。
 - 中南米・カナダ、米国で増加し、EMEA とアジア太平洋地区ではわずかに減少しました。
- 営業利益は 11.2%増加して 1 億 9,900 万ドル、営業利益率は 21.2%でした。

セーフティ、セキュリティ及びプロテクションサービス

- 売上高は、米ドル建てで 2.9%減の 9 億 2,600 万ドルでした。買収を除く既存ビジネスの現地通貨ベースでの売上高は 0.7%増加し、事業売却による減少は 0.1%、為替による減少は 3.5%でした。
- 買収を除く既存ビジネスの現地通貨ベースでの売上高は、
 - インフラストラクチャー・プロテクションとパーソナル・セーフティで最も増加し、屋根用砂粒とセキュリティシステムズは前年比減少しました。
 - 中南米・カナダ、EMEA で増加し、米国とアジア太平洋地区では減少しました。
- 営業利益は 2.8%減少して 1 億 9,600 万ドル、営業利益率は 21.1%でした。

電気及び通信

- 売上高は、米ドル建てで 2.1%減の 8 億 2,000 万ドルでした。買収を除く既存ビジネスの現地通貨ベースでの売上高は 0.1%増加し、為替による売上高の減少は 2.2%でした。
- 買収を除く既存ビジネスの現地通貨ベースでの売上高は、
 - エレクトリカルマーケットで増加し、通信と家電関連では前年比で減少しました。
 - 中南米・カナダ、米国、EMEA で増加し、アジア太平洋地区では前年比で減少しました。
- 営業利益は 2.5%増加して 1 億 8,600 万ドル、営業利益率は 22.7%でした。

###

将来予想に関する記述

このニュースリリースは、相当のリスクおよび不確実性を伴う3Mの財務上の実績および予測ならびに景気見通しについて、将来を予想した記述を含みます。将来の業績、事業計画、景気見通しを予想した記述には、「予測する」「予想する」「予期する」「期待する」「見積る」「意図する」「計画する」「信じる」「目指す」「であろう」などの語句を用いています。このような将来予想に関する記述から実績を大きく逸脱させる要因としては、以下の各項が挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- (1) 世界経済や資本市場の状況など、3Mにとって不可抗力な要因(3Mの経営あるいはそのお客様およびサプライヤーの経営に影響をおよぼす自然およびその他の災害を含む)
- (2) 3Mの信用格付けおよび資本コスト
- (3) 競争条件およびお客様の嗜好
- (4) 外国為替レートおよびその変動
- (5) 新製品の提供時期および市場での受容
- (6) 部品、合成物、原材料、エネルギー(石油や天然ガスならびにその派生物を含む)の払底、需要増または供給停止(自然およびその他の災害、ならびに他の事故により引き起こされたものを含む)による調達不能または価格高騰
- (7) 買収、戦略的提携、企業分割、または経営資源の効率化やその他の事業戦略から生じた特殊な事情の影響あるいは組織再編の影響
- (8) 生産性向上の目標未達
- (9) 機密保持違反および3Mの情報技術インフラに対するその他の侵害
- (10) 訴訟手続き(2011年度12月期における3Mの10-K年次報告書に記載の訴訟および法的手続きで生じる重大な展開を含む)

前述の想定または要因の変化から、将来予想に関する記述と大幅に異なる結果が生じる可能性があります。これらの要因についての詳細は、年次報告書の第1部第1項『将来の実績に影響を与え得る要因に関する注意書き』および第1A項『リスク要因』に記載されています。

このニュースリリースに含まれる情報は、ここに記載された日付におけるものです。3Mは、新たな情報の出現あるいは将来の状況または展開にかかわらず、このニュースリリースに含まれる将来予想に関する記述を更新する義務を負いません。